

平成28年度 第1回地区推進会議 会議録

1. 開催日時：平成29年3月23日(木) 午後2時開始

2. 開催場所：全日警ホール 2階 第3会議室

3. 出席者

各地区委員 : 31名
社会福祉協議会 : 6名
地域支えあい課 : 6名
福祉政策課 : 4名

4. 議事

- (1) 地域包括ケアシステムの概要について
- (2) 次期地域福祉計画策定について
- (3) 介護予防・日常生活支援総合事業について
- (4) 地区別計画検討状況について

5. 配布資料

会議次第

- 資料1 地域包括ケアシステムの概要について
- 資料2 平成29年度 第4期市川市地域福祉計画策定スケジュール表
- 資料3 これからの介護予防と総合事業～支えあう地域をめざして～
- 資料4 平成29年3月地区別計画検討状況
- 資料5 席次表

6. 進行

- (1) 課長挨拶
- (2) 職員紹介
- (3) 事務連絡、配布資料の確認

区 分	内 容
事務局(白井)	<p>本日はお忙しい中、地区推進会議にご出席いただき、ありがとうございます。本日の進行を担当させていただきます福祉政策課の白井でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>(課長挨拶、出席者紹介、資料確認)</p>
事務局(白井)	<p>それでは、ただいまから、平成 28 年度地区推進会議を開催いたします。</p>
事務局(白井)	<p>まず会議次第 1 の「地域包括ケアシステムの概要について」及び、会議次第 2 の「次期地域福祉計画策定について」この 2 つにつきましては、関連した内容となっておりますので、続けてご説明させていただきます。それでは、福祉政策課長岡崎よりご説明させていただきます。</p>
岡崎課長	<p>(資料 1 地域包括ケアシステムの概要について、資料 2 平成 29 年度 第 4 期市川市地域福祉計画策定スケジュール表 説明)</p>
石崎委員	<p>ありがとうございました。地域ケアシステムの中で、地域住民の方がさまざまな活動を一生懸命築いてくださったわけですが、その中でさまざまな課題を抱えながら、こんにちまで進んできたと思います。この地区推進会議の目的というのが、その課題をここで話し合っ、庁内の会議にかけて政策に反映していきたいという言葉、しっかりと受け止めさせていただきました。</p> <p>ここは単に情報交換の場ではなくて、やはり私達が活動していく中で気づいた課題を政策的に反映していただける場であるということが、先日行われた社協の地区代表者会議とは違うメリットがあると思うのですね。残念ながら今年は 1 回しか開かれておりません。しかも 3 福祉圏域合同です。それぞれに違う課題があったかと思えますし、このスケジュールを見ますと私どもの任期は 6 月いっぱいなので、7 月にアンケート結果の報告と骨子案にいきなりなってしまいます。私は今回せっかくお集まりいただいたのですから、各地区の課題とか皆さんが本当にここで困っているんだということを順次述べていただいて、それをきちんと庁内会議で反映しないで社会福祉審議会や次期の計画の骨子案の前にそれをまとめていただいて提言していただけたらなと思っております。</p> <p>それでないと、いつも呼ばれて結果を聞くばかりで、お互い情報交換の役には立つんですけども、もっと政策的に改善してほしいことをみなさんそれぞれお持ちだと思います。それをきちんと会議で引き上げて庁内に持って帰っていただく、それがこの会議の 1 番の目的だったと思うので、そ</p>

<p>岡崎課長</p>	<p>の点についてちょっと時期が残念だなと思うので今日の会議を利用して皆さん何か課題があったら是非この場で言って反映して 4 期の計画に反映していただくようにしていただきたいと思います。</p> <p>ご意見ありがとうございます。今アンケートの集計と分析を行っているところでして、今年度中に 1 回出来上がったものを新年度早々に改めて福祉政策課が中心になって確認をしたいと考えております。</p> <p>そこから骨子案のたたき台の前のたたき台を作って社会福祉審議会にかけて、それからある程度形が整ったものをご報告させていただこうかと思っております。</p> <p>いただいてきた意見を、きちんと政策に反映させなくてはいけないのが今まで正直なところ不十分だったかなと、反省もしておりますし申し訳ないなと思っております。今後は庁内協議体できちんと情報と課題を共有認識していくことを目標としております。</p> <p>骨子案を作る前にご意見ということですが、今、それぞれの地域の方々のご意見を頂戴するという形でよろしいでしょうか。または、毎回の地域ケア推進連絡会の中で、課題やニーズが出てきていると思いますので、そちらから吸い上げていくという形を考えておりましたがいかがでしょうか。</p>
<p>石崎委員</p>	<p>私たちがそのたびにお話ししてきたのですが、結局こういった会議でどういうことが共通の課題としてあがりまして、それをこういう風な形で検討しています、そういった進捗状況を報告していただきたい。それがこれまでなくて、アンケートをやってみました、アンケートを集計しました、骨子案です。となっていると、課題を私たちは感じてきて、受け止めていただいてそれをどういうふうに庁内で話し合っていたかのが全然見えない。今もそのような感じならば、どういった課題があって、どういった調整を図ってきたかをお話ししていただきたいと思っております。</p>
<p>岡崎課長</p>	<p>地区推進会議で地区別計画検討状況についてということで、毎回議題を上げております。そこで、皆様からのおはなしを伺っておりますが、それとは別にお伺いするというところでよろしいのでしょうか。</p>
<p>石崎委員</p>	<p>私たちはばらばら言っておりますから、全体でこういった課題がありましたとまとめたものを示してほしい。私たちそれぞれ一生懸命活動しております。フィードバックがほしいんです。それがないと、わたしたち言いっぱなしで、いつも会議にでて話を聞くだけになってしまいます。骨子案ができあがる前でないと、わたしたちが活動してきたことがどのように反映され検討されてきたのか見えないということです。</p>

歌代委員	<p>石崎委員のお話の通りだと思うんですよ。スケジュールによりますとアンケート調査結果と骨子案の確認が一緒になっているんですよ。骨子案ってというのは、それでもって動き出しますよというのが案なんです。その前にアンケート結果を発表して、こういう方針で骨子案に盛り込みましょうかというのが本当じゃないのかなと思います。</p>
事務局(白井)	<p>私の方から補足的にご説明させていただきます。委員の改選の関係もありまして、開催の時期を8月と予定させていただいております。スケジュールでは骨子案という形でお示しさせていただいているのですが、完全に固まった骨子案というよりは、そのたたき台といいますか、ある程度柔軟性があるものをお示しさせていただいて、ご意見をいただければと思います。それで地域の課題等反映させていただいた上で、最終的な骨子案を作っていくという形を考えております。</p> <p>また、フィードバックのお話がありましたけれども当然ながら課題の検討は必要になってきますので、協議体の中で課題を検討していくような形と、そこで検討したものを整理してお示しできる仕組みを検討していきたいと思います。</p>
石崎委員	<p>その庁内推進会議はこれまで何回開かれているのですか。どのような問題を解決されたのですか。私たちの活動を受けて、市としてこういった検討をしますよっていうのを示していただかないと、地区だけで四苦八苦している状態。市全体として地域ケアシステムの活動を応援してくれているという気分にならないんですよ。フィードバックしていただける会議にしてもらいたい。議事録も平成26年度くらいまでは配布されていたが、最近は議事録もないですよ。今回の会議でこんなことが問題でしたねという、議事録をもらっていないので、今後よろしく願いいたします。</p>
岡崎課長	<p>ご意見ありがとうございます。今後は単に地区推進会議でのご意見をいただきながら、こちらの報告をしていくだけの会議にならないように、フィードバックをしていくようにしていきたいと思いますので、平成29年度は計画の策定もありますので、地域ケアシステム推進連絡会議にもそのときそのときお伺いさせていただきまして、必要なご意見をいただきながら策定していきたいと検討しておりますので、その際にはご協力いただければと思います。</p>
平野委員	<p>前倒しすることはできないのですか。そうすればここにいる現委員の方も参加できるでしょうし。行政の方で難しいのであれば、ここからなん人が委員を選んでアンケートの分析など進めていくかたちにすればよろしいのではないかと。アンケートを取った時点から時間がかかりすぎている。7月というのは、あまりにも遅すぎると思います。</p>

<p>岡崎課長</p>	<p>このスケジュールですが、3月いっぱいまでにアンケートを地域福祉計画と高齢者福祉計画、介護保険事業計画も行っております。アンケートにつきましては厚生労働省から10月ぐらいに聞かなくてはいけない項目が100件程来まして、その項目を盛り込んで高齢者の方のアンケートができるようになります。高齢者福祉計画、介護保険事業計画のアンケートを始める前に地域福祉計画のアンケートを始めさせていただいたのが、昨年からの動きになります。これらを併せて集計と分析の委託をしております、それが出来上がるのがちょうど今の時期になってしましまして、新年度に入ってから改めて分析の確認をしていくという作業が、かなり時間がかかってしまう関係と、社会福祉審議会のほうも委員の改選がございますので、1回目の会議を行うのがどうしても7月になってしまいます。そこに案のたたき台になるようなものの、前の段階のものを一度示す必要がございます。その上で皆様にご報告させていただきたいと思っております。色々な事情がございまして、このような時期になってしまいました。なるべく早くまとめまして、準備をしておりますのでいかがでしょうか</p>
<p>平野委員</p>	<p>なるべくというのではなく、何月までという形でご返答をお願いします。</p>
<p>岡崎課長</p>	<p>7月に社会福祉審議会を行いますので、そのとりまとめが終わり次第でよろしいでしょうか。</p>
<p>平野委員</p>	<p>審議会を早めるという考え方はないのですか。</p>
<p>岡崎課長</p>	<p>審議会には任期がありまして、その関係で7月にどうしても会議になってしまいますので、それが終わってからということになります。</p>
<p>山崎次長</p>	<p>質問なのですが、社会福祉審議会の前にアンケートの調査結果についてだけ皆さんに報告して、こちらにいらっしゃる方から、地域の生の声を聞いて、調査結果と一緒に骨子案とまとめて社会福祉審議会に出すという風にはならないのでしょうか。そうすると社会福祉審議会の後にしなくても済むのかなと思うのですが、どうでしょうか。</p>
<p>白井主幹</p>	<p>即答をし兼ねるところはあるのですが、そういった選択肢は踏まえながら検討していきたいと思っております。色々な日程の兼ね合いで、前半がタイトになっているのが現状でございます。庁内協議体のからみで、整理していかないといけない事項もあるので、そのあたりの兼ね合いを踏まえて検討はしていきたいと思っております。</p>

石崎委員	<p>第3期の計画に地区推進会議で報告・提案が、庁内推進会議にかけられて、その後社会福祉審議会にその案をだすというローテーションであったのが、なぜ社会福祉審議会に諮られた後の報告になっているのでしょうか。</p>
岡崎課長	<p>今の質問とずれていたら申し訳ございません。アンケート結果報告につきましては、なるべく早く形にしまして一同にお集まりいただく形になるのか、報告に何うのかという方法については、これから検討させていただきますけど、何とか出来上がり次第報告ができるようにさせていただきます。そのときご意見をいただきまして、そのご意見を含めての社会福祉審議会に諮問するという形でよろしいでしょうか。</p>
平野委員	<p>それしか方法がないのですか。</p>
岡崎課長	<p>日程的にぎりぎりだと思います。なるべく早く進められるように努力いたします。</p>
事務局(白井)	<p>他に何かございますか。ないようですので、会議次第3の「介護予防・日常生活支援総合事業について」にまいりたいと思います。福祉政策課主任大賀よりご説明させていただきます。</p>
事務局(大賀)	<p>(資料3 これからの介護予防と総合事業～支えあう地域をめざして～ 説明)</p>
石崎委員	<p>最後の平塚の話なんですけど、わたしたちは十分こういった活動をやっています。今ご説明いただいた方は、私たちのサロン活動を見に来ていただいたことがあるのでしょうか。どうして、別のまちの概念を市川市に持ってきて、そういう風に頑張ってくださいって言うのか、残念です。わたしたちもうやっています。市川市の活動を載せて示してくれるなら、自分たちの活動に誇りをもてるのですが。</p>
岡崎課長	<p>あくまでも一般的なモデルになっているものがあったので、資料に使わせていただきました。先ほどもお話させていただきましたように、みなさまがやっていないと言っているわけではございません。1地区だけの紹介よりは、一般的なものということで挙げさせていただいたのですが、みなさまに不快な思いをさせてしまいすみません。</p>
事務局(白井)	<p>次に、会議次第4の「地区別計画検討状況について」にまいりたいと思います。地域支えあい課よりご説明させていただきます。</p>

鈴木副主幹	<p>議題(4)の地区別計検討状況についてご説明させていただきます。平成29年度の課題ということで、事前にご案内させていただきました資料4を基に進めさせていただきます。各地区での振り返り、検証等については各地区の推進会議等でお話しいただいていると思います。限られて時間となっておりますことから、計画では3地区となっておりますが実際の活動では4圏域ごとにコミュニティワーカーが来ておりますので、4圏域で今年新たに始められて取組みをお話しいただけますでしょうか。地区内での連携について、始められたきっかけ、実際に始めてみてどうだったか、それから来年度への検討事項等、お話しいただければと思います。</p> <p>まずは、北部地区の淡路会長のほうから新たな取組みとして、地区内のウォーキングを始められたと聞いておりますが、そのことについてお話しいただけますでしょうか。</p>
淡路委員	<p>大柏地区の淡路です。毎年同じことをしていたので、民生委員さんから聞いたらウォーキングをやってみたらどうかとなって、大柏地区は将門伝説というのがありまして、将門伝説巡りをやろうじゃないかとなりまして、距離は5.5キロくらいありましたね。それで市川市案内人の方に来ていただいて、告知方法は回覧と掲示板だけだったので人は集まらないと思ったが、50人近くも集まったんです。中には車椅子の方もいて、将門伝説めぐりはお寺とかもあったので、車椅子の方への対応が課題かなと思いました。5.5キロを2グループに分けて2時間ぐらい。幼稚園に寄って園児と遊んだり、市川五中でグラウンドにいた生徒と話したりなんかしながら。のぼりもいただき、掲げながら歩いていたら何十人も行列しているので、みなさん振り返るんです、何の団体だろうって。そうするとのぼりをみて、これが社会福祉協議会なのかというようなPRもできました。</p>
鈴木副主幹	<p>ありがとうございました。私も参加させていただいたんですが、のぼりがとても効果的だと思いました。</p> <p>続きまして曾谷地区で市内で初めての地区内のサロンの交流会を行ったということで、箕輪会長からよろしくお願いします。</p>
箕輪委員	<p>曾谷地区の箕輪です。今年の9月に行ったことなのですが、私たちの曾谷地区におきましてははてるぼサロンの数としては10種類ありまして、それぞれ場所は異なっておりますので、なかなかそれぞれの活動内容が把握しにくいという点がありました。これらを改善できればなと思ひまして、いろいろ考え調整したところ一カ所に集まってみたらどうかということになりました。曾谷の公民館に一同を集めまして、結果としてはそれぞれの事業を行っている特徴や改善すべきところもを理解できました。それぞれ特徴を持たせたなかで改善を持たせていくには大変有意義でした。</p>

鈴木副主幹	<p>市内で初めてということで 10 のサロンが一同に会して、各サロンがそれぞれの活動を模造紙にまとめて提示していただき、参加型サロンでは家族が参加できるメニュー、料理サロンの方ではみなさんの得意なメニューを用意するなど、160 人を超える方にご来場していただいたとのことで、すばらしい企画だと思います。</p> <p>続きまして、西部地区真間地区で昼食会を実施していると伺っております。石崎委員よろしく申し上げます。</p>
石崎委員	<p>昼食会は一人暮らしの方が、一人で食べる昼食はとってもおいしくないということからみんなでお昼を一緒に食べようという企画で、年 3 回やりました。一つは宅配食を食べてみました。そのなかで柔らかいのを一つ取ってみて、みんなで少しずつ分けて食べました。中には、お子様を持つ若いお母様の参加もありまして、自分が病気になったときに宅配食を利用してみたいと言っておりました。あとは自然食や、インドネパール人のカレー屋さんに宅配をしていただいて食べたり、あとはお寿司を食べたりしました。こちらはワンコインいただき、そのプラスアルファの部分を社協が補助するという形にしています。ちょっとした体操もして、健康管理にも気を付けていただいております。</p>
鈴木副主幹	<p>ありがとうございます。食事は一人で食べるより、みなさんと一緒に食べた方が楽しいし会話もはずむと言われております。地域の店舗を利用していただいて、日頃から顔の見える関係づくりも素晴らしいと思います。また、拠点の PR にもつながったのではないかと思います。</p> <p>次は、東部地区のふれあい演芸会を開催しているということで、原木会長からお願いいたします。</p>
原木委員	<p>わたくしどもの方は新規ではないのですが、お子さんからお年寄りまで地域のみなさんのふれあいをテーマにいたしまして、3 月 18 日に社協主催のふれあい演芸会を、信篤小学校の体育館で開催いたしました。400 名くらいの方が参加してくださいました。幼稚園、小学校、高校、特別支援学校、和踊りの会等、10 団体の方に来ていただきました。幼稚園生の踊りがとてもかわいくて、高齢者にも非常に良い薬になったと思います。市川南高校は書道がすごくて、全国大会で優勝する人もいますので、書道パフォーマンスやるんです。非常に人気がありまして、今回も幼稚園や小学校の生徒まで真剣になって見ているんです、若い方に一生懸命見てもらえる演技はとても大切だと参考になりました。市川南高校の吹奏楽も関東大会に出ていて人気で、非常に盛り上がり、すばらしい会になりました。もうひとつは社協の方にてるぼになってもらって、子どもたちにとっても人気がありましたね。最後になりますが、てるぼのどらやきがありまして、ちょうど卒業式シーズンなので今年は 200 個やってもらって完売しました。あ</p>

<p>鈴木副主幹</p>	<p>とは、3月28日の選挙の啓発と、4月1日からごみの回数が変わることを周知しました。毎年同じことをやるとマンネリ化するので、来年も新しい取り組みを入れていきたいと思います。</p> <p>次は南部の南行徳地区のほうで、6月に第2拠点が開所になりました。高本会長お願いします。</p>
<p>高本委員</p>	<p>以前にこの会議の席でもご報告申し上げたこともございますが、かねてから南行徳地区は広域範囲にありまして、地区の南にお住いのみなさんは大変遠くて苦勞しておりました。そこで、まちかど健康サロンという市の借り上げ施設がございまして、福祉部に移管してここに拠点を設けたいと、市長さんに平成27年の7月付で要望書を出しておりました。去年の6月から所管が福祉部に変わりました。活動を開始させていただいており、12月議会で条例が廃止されました。われわれの2つ目の拠点として活動させていただけるようになったことを報告申し上げます。新年度の活動においては程塚ブロック長さんからお願いします。</p>
<p>程塚委員</p>	<p>程塚と申します。先ほど石崎さんからもお話がありました、平塚のお話なんですけど、私たち週7日、9時半から16時半まで活動しています。相談員と言いますと重く感じてしまうので、サロンスタッフという名前でエプロンを着けて活動しております。今回4月から体制が変わりまして、今までの施設管理者がいなくなり、スタッフと施設管理を一人で見ることにはできませんので、二人体制でやっております。スタッフの確保や、理解していただくことが大変かなと思います。とにかく来たいと思われるような形をやっております。この前の会議のときにも、私たちの団地には5,000人くらいいて、その中にはいろいろな特技を持った方がいるので、イベントをしたらPRになるし、お茶を飲んだりするイベントもいいねとアイデアがでてきています。それをどうやったらわたしたちがうまく運営していけるかが課題です。今は25人くらいのスタッフでやっています。1日4人必要になるので、うまくローテーションしてやっていきたいと思っております。地域支えあい課や社協のみなさんには大変ご尽力いただきまして、アドバイスもいただいております。非常に残念だったのはその話が福祉政策課に行っていなかったということです。平塚よりも、もっと内容の濃いことやっております。ということですので以上です。</p>
<p>鈴木副主幹</p>	<p>ありがとうございました。新しい企画ですね、来年度に向けて変えていこうかなという企画、それぞれの地区の方にお話を伺わせていただきました。</p> <p>例えば、拠点のPRでいうと地域のなかで既に広報紙を発行していて、てるぼサロンの予定を入れていただいたり、地域での連携ということですね。</p>

	<p>けど、自治会町会、学校、高齢者サポートセンター、商店街とも連携を取っていただいているところもたくさんあります。担い手不足については、相談員の担い手がなかなかいないことと、高齢化が進んでいるかなというお声も出ています。若い世代を上手に巻き込むにはどうしたらいいかも、みなさま懸念されていますね。地域課題の把握ということなので、行政の計画する政策に反映するにはどうしたらいいかも、みなさま考えていらっしゃるようです。問題解決には担い手が必要な場合も多いので、やってほしい人と、やりたい人とのマッチングの必要性もお話が出ています。個別支援をどうしたらいいかということで、行徳・南行徳でやっていく話、真間でもあると聞いています。その個別支援というところで、総合事業のところはどうからめていくかの、みなさんのお考えの中にあると思います。地域資源の掘り起しということで、集える場所として自治会館や学校、福祉施設、お寺等でサロン活動されている方がいらっしゃいます。もちろん拠点でやっているところも多いですけど、いろいろな場所を工夫して探してやってもらっているところも多いです。</p> <p>先ほど福祉政策課の方からアンケートの結果を年度初めに出していただけたということでしたので、みなさんに示させていただくということで、地域内の課題をもう一度再認識していただけるような場が持てるのではないかと考えていますので、よろしくをお願いします。</p> <p>他に何かご質問ございますでしょうか。</p>
歌代委員	<p>わたしの地区ではないが、県社協で福祉千葉というのがあるが今月の冊子のなかに真間地区の子育てサロンが大きく載っています。機会があればご覧ください。</p>
平野委員	<p>先ほど、「住み慣れた地域で自分らしく暮らすために」というパンフレットをいただいておりますが、どういう形で市民への配布を考えておりますか。</p>
事務局(大賀)	<p>こちらはですね、総合事業のご案内用に使わせていただいているもので介護福祉課の窓口と高齢者サポートセンターの窓口を中心に配置させていただいております。利用者や介護保険かなという方へのご案内のフロー図や基準緩和型サービスが始まった内容や、裏面にいくと地域リハビリテーション活動支援事業を新しく始めましたので、そのあたりの紹介が載っております。そちらを作成しているのは介護福祉課になるので、ご案内が必要な方が地域にいらっしゃるようでしたら、お問い合わせいただくか、あるいはこの場の職員にご質問いただければと思います。</p>
平野委員	<p>非常にまとまっているので、地域住民全員に回覧、または配れませんか。</p>

事務局(大賀)	お金の話になってしまうんですが、財政状況も逼迫している状況のなかで作っております、生活の中で困りごとが出てきた方を中心に配布させていただいている状況です。
鈴木副主幹	地域ケアの方に一部でも置いておけるようお願いしたいと思います。さきほどの福祉千葉も各拠点にもあるそうなのでご覧ください。
石崎委員	総合事業のお話についてですが、基準緩和型の指定事業者は何事業者と対象者はどれくらいいるんですか。
事務局(大賀)	この3月から始めまして、現在5事業者指定いたしました。始めたばかりで、ご利用されている方の情報はまだございません。
事務局(白井)	ありがとうございました。それでは、今後の予定等について事務局よりご連絡いたします。まず、現在の委員のみなさまの任期については平成29年6月30日までとなっております。そのため次期委員の選任につきまして、4月以降に地区社会福祉協議会、市川市ボランティア協会を通じて選出依頼のご連絡をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。次に次回の会議開催についてですが、委員改選後の7月前にアンケートの結果報告、地域の課題等いただける機会を設けさせていただくようにいたしますので、詳しい日程が決まり次第ご案内をさせていただきますと思います。以上でございます。ありがとうございました。